



辛丑日記

明治三十四年

第壹卷
申號

早稲田大学図書館
文書27
A 104
1



三十八年八月六日一談

明治三十四年辛丑日記

第壹號

行年六十五歲 宮島誠一郎



明治三十四年 日誌

一月一日 晴

片照 佛事始於氣多山前杉竹之端
旭旗初の頃一陽陽を呈す

天皇皇后西階に立向て拜候す

長政多岐宗方礼服より未明に御符献納 聖恩に

不才晚方古殿に集まると是即此所

梅子此方熱氣引只腹痛し多し
此行に弟多し本方概情乃て是れ先皇七月

之頃所

早起洋館暖爐至温の干前大禮服着用二人引為南面新道より宅垣出て半藏門より参朝而階下北風氣より拜可し美談時あり青山所望幸す

為所拜幸す吹出先篇の交立年一才出新年之如車、余吹来り本郷上杉伯の慶三位の掛款此名歸宅

前日辰哉神戶平野水製製造場に有用より出宅三日好晴

藤吉早朝伊勢若日郎の馬七先と抱き抱けり

去の通生也軒子會集今年味洋食改り高前迄美哉午後三時張子移書子と撰江年味入来り也

清田房有賀家杖上年始状一守古蘇来、勘定、晚方目黒年味来、晚餐了出討飲

四、曇り雨新年和言同好所打徳と云り雨氣佳なり

新年宴會年前の大禮服者族院より酒饗に戴

一、竹也在壽

六日 小寒入 日曜

昨日雲雨 目黒山所 以之 淫初 雲山 状

山中 玉梅 孫英 一年 吟 山 中 之 二 姪 某 住

庶試 毫詩 二 章 一 時 就 夜

七日 雨

大八 采芳 亭 小田 切 万 壽 之 節 送 別 改

午 後 多 花 子 骨 年 吟 入 來 者 故 臨 初 之 長 政

及 大 供 孫 亭 亦 傳 五 花 之 節 之 臨 不 夜 十 時 故

此 雨 脚 益 強 風 亦 助 勢 之 一 節 仍 多 大 吟 也

八日 雨

九日 雨

午 前 九 時 大 供 辭 吉 鹿 尾 島 岡 部 與 平 之 年 吟 故

到 市 身 詩 之 有 之 卷 一 頁 買 改 也

十日 晴

携 酒 喚 德 女 之 初 院 之 九 孫 之 白 可 亦 之 年 吟 也

在 田 家 之 年 吟 也 詩 之 卷 一 頁 買 改 也 上 泉 之 叔 久 未 也

可 之 不 暮 乃 均 宅 切 德 面 色 之 年 吟 也 但 之 醫 師 也

軍 醫 之 婦 人 之 叔 也 今 之 注 意 也 改 也

十一日

清 女 昨 夜 之 痛 腹 不 刺 夫 之 梅 之 者 故 婦 之 門 之 節 也

室々。香所臨初院方々。大供具。是亦未詳。澤
鯉之記をきり。美味あり。十之四宅

考。うし

土藏開。向島百花園。中紅年と書ふ

古山。熟熟年。寒素。君。向法。隆。仰。新。築。の。所

上泉。之。留。守。宅。と。年。咲。竹。廿。七。申。候

三。白。馬。内。と。咲。し。新。り。日。落。所。木。此。屋。多。屋。切。と。書。い。し

大。増。殿。合。と。新。り。先。後。と。新。り。出。せ。せ。む

智。山。軒。河。原。院。宅。の。可。不。伊。豆。之。蓮。堂。と。打。邊。泉

と。河。原。と。云。う。し。下。次。均。原。と。云。ふ

寺考

野。可。不。而。雲。岸。島。り。天。城。丸。多。伊。豆。出。張。と。云。の。出。宅

院。乃。黒。井。山。田。貞。次。妻。と。云。の。新。留。多。振。と。云。の

上。杉。田。舊。臣。洋。行。仰。と。云。の。新。留。多。振。と。云。の。新。年。の。出。宅

と。僅。き。れ。年。少。山。吉。并。水。長。治。其。新。留。と。云。の。香。坂。新。留。と

下。條。正。徳。寺。子。程。屋。元。節。と。新。留。多。振。と。云。の。新。年。の。出。宅

初。不。年。少。の。出。宅

十。三。日。晴。日。照。梅。子。情。乃。院。乃。着。渡。帰。七。五。年。二。高。着。物

院。三。日。晴。日。照。梅。子。情。乃。院。乃。着。渡。帰。七。五。年。二。高。着。物

多。個。と。後。の。游。行。院。乃。字。と。云。の。出。宅

林。院。乃。地。子
新。留。多。振

云。

昨者渡峠道一昨夜此宿に梅子おし熱氣七言
之等あり氣候之如あり

徳女寺身とて相接山下深き所ありしに第ありしに第ありしに

未の所ありしに日印梅とて一小鸭動く春ありしに

おし山下余未徳女之初氣生るるをわし梅子とて

源大寺梅枝あり梅花の種福むしありしに冷温教

解之能成り多し不妻知之物院天の林に梅花ありしに

梅の花実ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

後より平生強壯梅の花実ありしに梅の花実ありしに

活初とて身は首に三日回るる要すべしとありしに

身は對的長きこと以ては十二の時旅初梅花

今りも大八流ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

身は多き月夜梅花とて梅の花実ありしに梅の花実ありしに

梅の花実ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

十言。梅の花実ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

梅の花実ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

梅の花実ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

梅の花実ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

梅の花実ありしに梅の花実ありしに梅の花実ありしに

楊公使、北京、北極、公使、執、事、也、楊、希、嘯、呼、何、大、
兵、也、并、攻、野、也、兵、也、并、攻、野、也、兵、也、并、攻、野、也、
任、軍、之、指、揮、也、將、也、也、任、軍、之、指、揮、也、將、也、也、
い、露、海、州、の、物、力、を、指、揮、し、其、軍、隊、を、五、軍、に、分、
け、不、作、業、し、稱、且、英、國、之、深、沈、を、方、及、ま、り、以、
省、視、を、あ、し、り、稱、也、英、國、之、協、力、を、必、ず、影、射、し、且、
其、の、出、軍、者、英、帝、に、北、京、陷、落、を、事、と、し、追、て、
東、洋、之、時、勢、を、歐、陽、思、軒、之、所、と、違、い、而、露、國、に、使、
軍、遂、に、其、意、を、遂、行、す、見、點、を、一、つ、指、針、感、應、を、
と、あ、し、り、あ、り、見、以、たり、

左、右、山、之、話、を、察、す、以、官、十、國、聯、邦、に、事、を、論、じ、
婿、和、に、事、件、に、着、目、し、後、に、尚、又、法、と、同、題、を、あ、し、
如、何、を、し、て、法、公、使、李、盛、鐸、に、任、法、公、使、に、事、
別、別、然、し、て、法、公、使、李、盛、鐸、に、任、法、公、使、に、事、
或、は、一、言、を、以、て、論、じ、し、事、を、一、一、別、題、と、す、
山、と、何、所、に、斗、り、論、じ、初、め、は、一、つ、大、小、七、快、乃、小、越、
高、海、河、を、經、歴、す、其、の、兵、隊、を、入、る、十、分、經、歴、す、
然、れ、も、事、態、を、見、察、す、一、つ、大、小、七、快、乃、小、越、
間、接、に、自、姓、を、タ、シ、テ、海、軍、を、制、す、時、時、
あり、七、快、乃、小、越、の、以、り、行、く、

栗栲之改稅兩之可所爲凡之亦之官地録
一假之書之物也皆用改之爲日之刻修治中
梅子種亦七分之二及熟林罷之揚木中因
之之聚之也 柳之少之 暗氣之葉子及之
梅子無之

世の形和散後雨下成。

於食粥之用の節用先の神平野水製法
川の保美なる佳味有候話

腹合不宜食餅之甚なる食中

大八の出勤晩方伊多傷湯花を湯への湯

議會開院

松長地と吸物猪肉と多量の脂養食 松長地は前由未
大八物有る人誤合 松長地は前由未

廿二日也

貴族院と議院と上之席十時開議 櫻田
委員正副投票と好まぬ所を都てあり

午好之の華族會館親睦會は此の年九
伊藤内閣刺殺のあり親睦會多し西目と改め

餘行區域と擴張也 田新完

二十日

午の時に任事畢 初孫命あり候

大塚信房傳代十丑日...
七日... 御野宮...
二十日... 云々

穂積_二末_一

即日... 穂積... 憲法... 留... 思... 深...

十丑議會

制... 考... 共... 廿... 天神... 廿六日... 戶日... 衆議院... 死活...

新政黨の友層は大隈黨の阿諛より同族表
一柱を成す數多る成るべし但し是は酒稅
七割増加且砂糖の新稅之増分議議議
續也

此處より浦菊酒十二瓶價六圓三ヶ角五拾米

廿七日 日曜

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は
貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

二十八月 日曜

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は貴族院の増稅案は

廿九日

上泉德沛清士子后日陶胡

廿日

德沛入乘天津北京山海關道出先御之在列

世

幸借出部大後省大後谷芳郎第第增稅

古為系大甄帥之未廢此存三大而升增意大

二月一日金

前田區成雲乾牛也披木町七馬地大移之

二月下金

前田半道神在坂樓木町七馬地大轉完河秀經

娘中大兒大兒大靜大前田區人大力大事大多大行大六大代大日大行

近漸識長大明大緊大急大心大子大件大身大辨大信大別大信大別大協大議大改大行大

前田區成雲乾牛也披木町七馬地

二日土居海大寒大氣大庚大子大寒大中大最大上大冰大豆大肉大難大結大

出院之英國女皇逝去年大葬大式大當大之大休大會大改

議長築地會堂會葬改中大協大議大改大行大

印大之大者大仍大為大上大下大勿大院大休大會大表大哀大悼大

上杉家大在大法大多大心大房大東大京大若大澤大神大任大者大支大玉大源大集大

英國女皇逝云

徳子母を切井
青信を以て心
解し可なり

三日日曜

可市松原に於て徳子と舞論を演ぜり

北澤正誠、越後守、核、教、塔、塔、安、齋、儀、物、系、以、物、

交、死、去、報、報、東、平、騎、求、由、地、大、比、身、平、故、駿、

と、安、人、力、事、得、世、世、如、下、り、重、川、道、邊、也、是、多、り、お、り、引、

取、謝、り、予、能、有、誤、り、路、切、り、出、度、も、生、生、と、家、之、

之、地、香、奠、一、日、事、所、入、り、天、以、り、有、批、り、引、取、合、生、

浮、沈、の、大、可、悲、也、あり、隆慶元年北澤正誠、平、騎、切、路、爲、所、居、

其、景、况、可、悲、可、憐
雲、木、と、あり、林、在、格、格、市、町、前、用、宅、に、引、竹、子、先、生、格、

近、傍、に、餅、海、魚、若、子、等、の、水、の、祖、屋、成、格、格、入、り、

明月、の、池、と、あり、竹林、擁、屋、園、之、敷、に、池、在、あり、大、八、の、

レ、の、あり、竹、子、と、格、入、切、花、と、り、吹、折、り、竹、子、先、生、格、

四月日曜

議、居、出、院、格、氏、瑞、鶴、江、步、乃、子、中、之、次、原、格、其、日、

決、り、午、後、風、邪、と、氣、流、あり、

吾、等、も、片、電、を、飛、此、婦、も、あ、五、圓、札、を、取、り、

在、宅、お、り、初、中、行、竹、子、風、邪、臥、床、徳、子、の、電、報、お、り、也、是、行、

二、日、晴

可、市、早、朝、二、息、徳、子、と、追、ひ、格、池、邊、に、行、徳、子、

の、退、院、後、可、市、格、乃、向、先、格、池、邊、多、事、格、

見、物、を、徳、子、の、初、院、に、お、り、多、事、格、乃、向、先、格、池、邊、多、事、格、

新道南境
掃除

初澤正誠考北
李汝彦名死

理髮屋代八田三少 寄之 寄前七六少

おの上泉行の鶴松木 徳休来り片の 拜謁徳休
其徳之 亦徳如寺中 指黙念修 以爲同行不
防 爲中 行治 日之 祐、方 之 託 与 托 徳 候、事 候
其 后 振 矢 附 之 於 終、

徳休 予 成 平 山 下 海 本、 他 世 届、 予 出 之 賜 来

十七日 曜時

大之来。 徳休 予 車、 寄 之、 評 判 候、

予 食 之、 寄 之、 寄 之、 寄 之、 寄 之、

徳休 未 以 爲 出 費、 徳休 之 身、 以 徳 日 行、 寄 之、

徳休 思 之、 寄 之、

引 渡 予 仍 為 源 大 却、 元 舞 状、 片 之 寄 之、

十八日 曜時

徳休 予 仍 為 源 大 却、 元 舞 状、 一 國 身、 寄 之、

予 收 之 時、 葉 族 會 館、 昨 年 北 清 事、 行 務 候、

海 陸 將 標、 徳休 之、 角 力、 俾 之、 存 有 候、

年、 拍 垣、 於 酒 居、 福 理 在 座、 出 親 前、 力 舞

之 立 食、 寄 之、 寄 之、 寄 之、 寄 之、 寄 之、

十九日 曜時

卒 丑 正 月 元 日 候、 年 前 美 徳 院 出 之、 局 違 候、

其 日 押 搦、 寄 之、 寄 之、 寄 之、 寄 之、

早於前日得報第初為事山中滋業

張蔭移黎湖來以之舊曆元旦之日書之

相上於此誤會括版地固意却于許不意者

世子洋行一併也世子身解之陽者之馬之診也

有改乃之經之也向于故亦依長以而漸

括版之德者子統之也

廿日

德心妻子之標德世保心也及可而新德之也

于前會議開稅監視境域之法律之治會也

之如議及乃之也下第一條二條割除之也

三四之條之割除之也成治之也花之類之全案

割除之也廢案日在之議者非常之不入氣

疑為朝長之心能也

古也之也之也之也之也之也之也之也之也

午後之也之也之也之也之也之也之也之也

之也之也之也之也之也之也之也之也

廿日

終日獨指議案未讀之時湯之內宮者素之也

后材銀力素短之也也也也也也也也也也也

地心之也也也也也也也也也也也也也也

輸入超過此處非市價可
知區此事國大病

增稅案
紙千萬圓

廿日

訪集抄録湯花湯之浦し新宅晚飯 府新宅

議院出序詮抄糖海同税之二十萬圓増税し

案如況十五萬圓之年負附北議長遂進上以

案今年之天物物多し

淺草之助之官誠下宛友十萬圓多し憲章

取洋行身辭横也、誤階字博士京説の千均案

若長長政ホ之と云

宿新五

廿四日 〇 確

長政入案季四萬圓の母田銀の、嗚北之弊屋に於て

持去年合意し、其

在陽堂者甚健三、之端也、其出し、若、録之、其

當所を以て、八年息、おや、高町、行お、留、若、概、

新宅北飯

廿日

野園庭持、午、前、松、平、正、直、案、は、五、之、増、税、天、花

省、儲、庫、也、と、拘、二、千、萬、圓、之、増、税、之、案、不

滿、切、之、支、方、何、の、何、右、對、之、波、貴、院、之、高、平

數、及、對、之、其、最、初、不、熟、案、之、正、直、海、

其清給費強あり出外年々少く保恩熱心あり
案あり且暇身素三基屋を消費給事申す壇
神乃信は是非不可避り併今尚有基屋
後て天蔵の跡屋を調査し果白く是より又露
國海洲業あり之を兵仗に可訴事件出外あり
は軍國力あり之を大車に補し之を一般増税
は是れ其類あり役は法に利用し經常費に
辨すべき是れ屋の費あり是れ少くは撥と見なす
は是れ松平司り片の年々員及屋あり之節
靜と見る宛に南郷再安せん云々

此の月日之善悪屋の二十人中互對一人對一人
三人高増税否決の成なり

井ノ下 火曜雪

午前十時幸俱平部へ行増税問題昨、番多局
多各決身しはに托屋あり御地造幸島秋以中村
元雄之宅見むり回江平白直義嚴出野村嘉伊三
海忠中萬末兼寛磯道日義村田保岩根荒
助あり高獨新吉古地坊城甘日不東水増
税之不利を説物り三坊の石の者あり増税を
不物白公傳善を布城の者出に法に執らや思

法務省の白紙に可成り域の隘りたつ事非
増税と云ふを説く

午後沙場屋敷に於て夜餐多し
長中ノ宿舟ホの花を買ふ馬車新揚子ノ如
也秋ノ餅と云ふ屋敷改計四田四十二

廿七日晴

貴院院議會増税問題日談
勅出
十日同傳會

二十日晴有風少塵

午前十時幸俱樂部と知所會十時

會中政府より手紙廻りし議事と周旋説得
轉化し手紙を執りて我が本志を屬連
初志を勿易とし

美現片新内閣と若くは最初生意
事と政府黨と組織の改良黨と厭棄
の政友會と稱呼せしむ
之は政府の海陸兩相と除く外
皆政黨の側近の事務加藤、北、黨人
評たして政友會に非らざる人已黨人
同然といふ増税案と衆議院政黨多敷

政友會之成立は、て通過したる貴族院に感懐
伊藤外相の感懐を、て衆議院に互致す
三月一日
藤野 濯 誌

十日傳會終日在定

三月二十七日増税案の冒頭、十日傳會の旨
初陣下議院の閉會に、て政府の議案に協議す
所あり伊藤總理官舎各大臣、伊藤官舎集

二日陽

青山古山侯の宅に訪ふ新年のあはれ、て易川侯に
招きよけり、て初め揚子、て身打と肺疾、て氣

味、て下流を急、て海に漸く合快、て今秋在押
に於て着渡り、て引り、て舟に浪津、て物他、て唐法、て
大山の増税問題、て石、て流、てし、て心、てを、て中、てに、て身、てを、て口、てを、て心、てを、て計
り、て心、てを、て大、てに、て根、てを、て理、てを、て流、てを、て水、てを、て知、てを、て出、てを、て水、てを、て向、てを、て後、て
ゆ、て運、てを、て多、てを、て花、てを、て新、てを、て宅、てを、て訪、てを、てふ、て老、てを、て母、てを、て十、てを、ての、てを、て玉、てを、て使、てを、て剛、てを、て影、てを、て一、てを、て家、て
中、てを、て出、てを、て序、てを、て控、てを、て得、てを、てや、て晚、てを、て現、てを、て非、てを、てを、て成、てを、て印、てを、て内、てを、て知、てを、て別、てを、て祖、てを、て庭、て
前、てを、て移、てを、て柱、てを、て蘇、てを、て鉄、てを、て朝、てを、て鮮、てを、て征、てを、て伐、てを、てを、て帝、てを、て所、てを、て載、てを、て中、てを、て均、てを、てを、て三、てを、てを、て年、
之、て品、てを、てなり、て
伊藤首相の衛議長に招きよけり、て和あり
西郷侯の東に赴き、て山縣侯の漢に竹ありん

山縣移方
西郷秀吉

平坂幸信市部之行、西郷西郷、山縣移方、

以保赤部、源尾、市部、増税、不評、其説、

得、能、初、能、十、間、知、情、在、不、此、

六百町

其前七、小倉、信、近、来、開、層、初、者、族、院、何、也、

彼昔、西郷、外、大、田、膽、胸、中、昨、在、集、山、縣、移、方、

於、破、坂、前、田、宅、列、系、子、及、遊、生、者、也、

周、旋、可、有、未、了、自、分、請、宅、

阿、鍋、者、也、以、代、名、代、相、以、所、也、一、家、事、也、

清、女、在、尊、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

北、海、道、長、官、團、田、年、頃、集、増、稅、及、對、夜、見、

山縣移方

西郷秀吉

六百町

其前七

於破坂前

彼昔西郷

於破坂前

周旋可有

阿鍋者也

清女在尊

北海道長

七日

前田... 手... 官... 福...

夜... 針... 長... 頭... 增... 時... 坊... 稅... 常... 成... 立... 肉... 剛... 惣... 輝... 職... あり... 不... 爾... 日... 哉... 分... 身... 可... 滋... 少... 事... 協... 和... 事... 事... 田... 家... 之... 廢... 事... 其... 事... 未... あり... 事... 擇... 正... 直... 事... 者... 一... 事... 者... 德... 所... 以... 業... 族... 會... 館... 山... 好... 法... 方... 西... 洲... 井... 上... 粟... 先... 貴... 能... 院... 至... 深... 層... 有... 事... 於... 此... 時... 自... 投... 函... 送... 了...

山縣外三志
貴能院至深
用字

此... 山... 田... 播... 磨... 子... 呼... 心... 打... 針... 風... 氣... 吹... 喚...

有...

八日晴水凍

早... 於... 山... 田... 播... 磨... 子... 呼... 心... 打... 針... 風... 氣... 吹... 喚... 今... 日... 衆... 族... 會... 館... 於... 此... 山... 縣... 西... 洲... 井... 上... 粟... 先... 貴... 能... 院... 困... 伴... 至... 涉... 員... 二... 十... 名... 七... 村... 協... 議... 政... 事... 再... 考... 之... 一... 事... 者... 通... 事... 午... 後... 四... 老... 之... 内... 山... 縣... 一... 言... 證... 之... 事... 二... 條... 條... 之... 事... 涉... 員... 二... 十... 名... 七... 國... 二... 名... 院... 中... 一... 切... 協... 議... 事... 法... 定... 了... 口... 上... 衆... 傳... 世... 傳... 事... 物... 山下... 田... 中... 沙... 岸... 之... 事... 竹... 子... 等... 行...

徳女所買行、夜讀考、洋食之財、龍之号
亦如、夜讀考、洋食之財、龍之号

九日晴

昨日、と傳層片、吳族院、出歌、安、玄、嶺、張、
半、片、の、十、三、と、抄、日、間、傳層、布、達、
徳女前田行、抄、也、と、前田、行、

十日

前田、と、七、日、目、多、抄、也、と、世、後、波、一、徳、十、の、物、宅、
者、

午前九時、是、雨、降、日、志、傳、の、親、集、層、抄、平、正、

真、北、間、中、四、老、協、議、之、結、果、と、智、先、主、坂、酒、
税、の、増、加、抄、一、新、糖、及、の、麥、酒、之、新、税、の、否、決、
但、酒、之、新、年、限、之、制、限、と、中、一、年、負、之、再、附、
批、の、改、訂、集、會、の、面、に、杉、栗、有、地、の、獨、新、者、見、
其、の、中、村、元、権、寺、島、秋、及、伊、東、神、摩、森、山、園、産、
者、の、野、村、多、分、者、并、其、花、之、宅、秀、引、増、税、業、之、問題、
此、を、終、局、と、為、す、機、道、包、義、を、不、痛、と、脱、層、と、
天氣、思、徳、女、之、物、換、と、爲、じ、扱、抄、也、と、同、以、
音、
山下、だ、と、昨、夜、の、咳、嗽、と、風、邪、感、冒、并、故、可、

徳子山下世積源順の御

古藤葉、周旋入佐藤、分割地買人、
本如報告

此夜近衛議長、田中、
六時参内、親友、
あつた

十三日、午前十時、幸徳、
幹子、
良友、集議者、
初夜降、
あつた

十三日

午前十時、幸徳、
幹子、
良友、集議者、
初夜降、
あつた

初夜、
十四日、
開議、
議、
初夜、
十時、
同、
場、

午前十時、
同、
場、

十九

今日早より増税業特所事務千五名共在
當局者渡邊藏相と主として合議す
藏相より言ふ異々として可成り

早稲田大隈宅を先舞由進投木所前因を
沼田子年事一おやと叫ぶに火事近由あり
大隈家と続末と云ふ家、僻陋に據り
士下味之やりの風節あり

貴族院出頭 勅語譯り收開議午お土
時芽出後居議お沼田増税業成立

名地井戸管廟に奉拜以祝樹一見 魁林
幼年餐煙を食す 魁林思田伯得者茶
佐助の家娘出て昨午思田伯助所へ
入葛餅着る不食 初身減留家計少減
尾上七之次月と云ふ大切に
海屋為又若狭院に去る後算屋議長あり
十七日曜

尾車先允 山田拙師を呼んで計治計惣書
甘藷煮あり 二倍衣異身所書

十八日

宇源香依世保よりシテ、口々、暗疾、物、物院
治、療、漸、々、特、切、断、了、可、得
源、業、の、身、是、又、全、秋、成、特、地、標、出、七、政
方、向、未、知、依、世、保、の、呼、び、承、り、又、時、機、を、不、得
片、日、同、行、の、婦、人、あり、指、引、受、け、る、儀、事、出、た、り

十九日

議院出席

二十日

議院出席、この日、東京、海軍部、兵
軍、港、の、製、鋼、所、案、を、記、名、授、票、の、事、出、た、り

多分に分けて否決

徳女依世保、七事、安着、の、電、報、接、り、可、知
此行、後、い、は、る、世、界、の、徳、女、一、人、の、行、跡、人、あり、
即、ち、九州、長、崎、の、邊、に、表、し、孤、征、の、身、を、先、人
の、想、に、非、不、及、但、し、電、報、の、事、が、不、可、知、の
事、り、と、昔、時、大、名、の、多、敷、從、者、の、行、跡、と、も、又、い、
る、可、知

高野、園、進、の、初、筋、力、多、晩、酌、の、程、あり、屏、布、の、
印、を、愛、お、た、り

廿日

春序皇鑑

左完

廿一

議院出序

右完

廿二

議院出序

富元友子曾午坂幹子

湯川忠世四萬圓之森沢勇涉

廿三 日曜

休日有北之閑議客十城之高野孟矩之康

業香味以之片身議事之總局と為す

河島乃波初新書

開院式

一月二十日

開院式

三月廿五日

六月十日

廿四

開院式賜勅渚伊藤首相尚名代

帝國天皇陛下内閣大臣在御例儀之議及之要

會也伊藤を氣力渚也天光之亦多氣煩也

彼と渚昨年の子供等も可帯但世を以て

け回大人の出て可帯と名も世も凡そ可帯

身は如切可帯渚也白彼可帯一可帯

進辭也可帯其可帯

長波想大の可帯四萬圓之湯野川昨日是也各

可帯其債権者何物も之不能知

長政が収一画の郵便未の存所柿所中村鎮次
湯野川に輕率果の只に安産と川也

二十六

午前長政の行き昨夜の郵便始末評判

尚所より長政其日存銀行の行き中央金庫より

千圓金と法取均宅

麻布邊初歩 北川勝宅と河島より赤う新橋

鳥島邊前街高島鉄道と敷地一畝邊

日本橋中津屋より午後食後均宅

二十七

午後上野美術協會の長政と後日古後日鉄三

人為沙草奴底より植田より二三の利息備

用六百圓の片般蔵書と宿返却したる

新債を起し其間時撥を乞ひ印地賣却と後あり

評決、事柄を五月より七月まで若干金借用

と目算并七徳迄あり

二十八日

上野精養軒に於て幸昌寺都総親會を催し

而して十少議層の勢を慰むる事と高島平田両中

負債整理
評議

群雁池一斗收り集居り園田由頃石田英吉
高橋新吉等名に層費差由五十銭

高橋曰り金融悪し 均運白帑一束一四貫

廿九日

横田法善房に六百圓返却

三十日

昇屋揚行魁之柏漬一樽之買込山下源次郎等
肥前四娘野

三十日

植木屋来り 午後長政古森目黒之層家

政評判 古森報告分割地段の買入其之七

四月一日

熊三片日る日庫中亭之登校

植木職三人来り 午後上杉中候會多中序

保科忠常家然来り自來得二十年目と来り

二日

園庭掃除 保科對食

儀層在滞 水海舟身俸為養之為羽田

正午より出浴 梅豊二女直日行

三日

海邊生稻過數米

四日雨

輕風雨南之頃下極真暗あり

午前子休ホ七時以迄女日行北字稻為多非回

午收稻宅時新行車路り多稲多不國自多長二高田路

未松内相山下官舎招飲此之急首相官

舎臨時會議此所ハ内相詢宅邊刻

お成、鞍島駒長代理食堂南、中社

未松内務
官舎東の
まの石打何人
幸任美

未松詢辰日存食事丁喫、御食庭早ハ能楽

二三番あり貴族院議次、子為禮お落あり

六日

忠節長政對飲

七日 日曜

午時張若杉黎淵ニ子多話弄り酒飯

長出、稻無昌筆談、卷ハ談文と直書

此ハ向島ハ觀櫻行あり

長谷尾ハおや、日新忠節、相伴、行、洋館

郷屋の御前

八日

千坂推藻大末三年二年忌、昨、多、今、
祭祀を修むに身、新、故、古、念、菓子、
下、其、靈、
傷、
詢、
此、
特、
大、
延、
國、

此、
特、
大、
延、
國、

如、
九、

九日

而、
物、
之、
身、
得、
問、
保、
首、

人力車五仁者
湖上人力車
揚州美園
園之北東の山

佐野常民別印梅苑真盛多矣、北観句、
小瓶歩致、若沃完、多居飲

十日雨、古為易、梅苑、多佳、多、

祝三花之正言

忠恕部、片、野、所、若、一、少、作、下、及、足、由、未、沃、上

冬、神、早、一、注、す、之、言、不、相、束、雨、数、三、降

土日晴烈、風、竹、白、柳、華、花、学、梅、之、行

向、島、獨、り、観、梅、花、烈、風、中、多、枝、海、井

花、光、揺、扇、高、之、夫、之、監、観、天、地、之、奇、景、也

梅花、之、看、り、人、之、力、風、流、句、梅、苑、の、春

梅、苑、の、小、休、吃、茶、食、料、の、多、き、也

十日、好、晴、靜、天

今日、無、風、一、身、如、春、色、子、供、皆、竹、梅、遊、在、所、其、後、入、て、向

鳥、観、通、會、八、日、半、七、所、八、方、特、許、理、在、所、多、き、也、其

大、北、前、一、公、初、遊、之、懐、情、在、元、氣、如、昔、如、

坊、少、草、公、園、一、見、西、公、使、子、婦、之、遊、不、暇、身、北、京、遊

城、中、之、事、事、均、於、之、得、以、向、島、之、花、之、見、人、多、如、來、也

之、公、園、之、子、供、之、遊、也、也、也、

十三日、晴

前、日、金、五、園、者、科、小、袖、之、重、目、録、一、句、也、也、

お、如、上、特、系、物、也、大、掃、除、之、山、之、草、株、之、西洋

館方初稿存陳

橫濱の島々山下の心身格身。母の心身を所望
心身の熱多き危くは多漸く味力源大徳七味力
あの中身。 宿弊の元悪念の三動あり

十言 一曜

常所より並列末仍も味力長沙の如く格中
可なり所を伴ひ勾当に競舟を物より

條科と事半者に列看し一末得らざる

新宅を暇長政石末かや去均一知新案
十言あり

於長政の語に横田相談は片日長初はあり其談を改
るる語の時此後改題を方より如くする横田より其全
を得る所より也。是等事圓口年一割と月一割は其
語の有り仍も横田に其内方法と其元あり。 語の時格へ其
格類ありてあり

因て証す新世三十四歳は初是増加降つた
然れども利子増加五十四歳は其最早の
身方より其全印量即方法と改め整理する 即
整理は能人の手操へ其代と増加より切迫し形勢
尚ほ其將軍と格不立清水水八重橋と盛一丸

赫布魯多に到り、楊鼎西徳皇帝と交渉し、面會大八に對
清帝を以て見せしむ。於昨年義和團事件に於て大要は
昨三十二年北京在劫中

六月十九日北京城中に於て外國人より大沽之臺
埔に渡せし要求あり、然し北京城に對し、是れ拒
要求ありしに對し、強て拒み、遂に義和團と
官軍と一泊りたり、初めて知りたり
未だ官軍は義和團北京城壁を包圍せしむ
城中より世界に空気が遮断せしむ
此時中に公使館もも米二二に北門の久北公使

城内糧食
城に人
計
皆

館に於て十四五石米あり、於一トン道に不能入
六月三十日、官軍は天津に達し、天津に達
し、十四日我軍天津攻撃の際、其を慮り、初
め天津に於て得て、傳命我軍に通下たり、其
前に於て密住をせしむ、或は殺され、或は
逃に天津に達し、然るに物ありて、密住に
復命を遂げ、七月十九日、北京城に攻め、援
兵にありし確報あり、城中に初め援軍を求め、
知りしを得たり、却る城内糧食を糧食にありし
六月十九日より七月二十日、間断城あり

おやと前田より物色がある九宮以上の熱方と續く一妻
十二日雨

時事書類文通へ傍らに写す。

疑り十少議會の議案たり一のべ程軟了

大八宮田侯より多相借樂園の行水为我劉

雨田小越平隆回款多海洲談政中

雨巾長政晩方より布の家計征畫長政防亮町

行き所より古殿と笑いたる也

十七日晴 祖風
新病の氣腰痛招り計治さる中

木梨男落刀来り古言一也七律 春田里長也并に

課者、袖の玉揮毫を乞ふ猶二幅持来

梅子竹の子標に到り、女三感冒山田櫻摩来

梅子畫治痛、法女より好まじき行、然三登標

徳女娘野より十才者、端書あり、明亭、娘野

出及林、頃京都着る也

与杉、之任公亦来

目黒、古物に明り、事事より進り、目黒、何れ、是れ又也

十八日

前田と評事多及熱 園中七尊之苗多
午後長政古名来り評議即地一坪二十九箇
の真盤之立之証書

十九日晴

新苗と為之増殖之修載

於廣隙礼花ノ東娘也子様ノ入様之望
あり向碑表傳り来り

二十日雨

有于會平洲先生ノ母と此五升高成所福井樓
之會飲上於公ノ子也鑑之序 雨申均宅

宅新

二十一日日曜

春曆三月三

好勝之海舟千束ノ觀梅會多親戚

有友來集り高田依例軒旋也輪塔兼拜

梅楓按之成木也都并盤根好も

河内千束ノ南郊都歩ノ河内河内出り和風

晴春先澄海内此紫雲英存穢映に

畫之如一品川流と教出名強之密村小衆

高下と多子晴川端大師之考信人三月三

日曜日ノ北帝殊好勝海上拓給人信

如軍魄方均宅矣下之保農良可

おや高田行く

二十百晴

吉井之伯十年筑高青山墓地に於て少少祀
七世五子に有る道知高杉乃西野川村大山本
田より下條に降る島末集り休亦末才其老
勝黒田の伯を拜し也七矣生者必滅之規
則に在る今不置まあり

午後如所^下葉^下之時林分四宮停車場に於て
新宿下車小金井に殘梅を眺めんとき此八
季之行^手車^手四時八分下車より依り歩大

五月廿六日
六月廿百六
七月廿百六
八月廿百六
九月廿百六
一七

久保に踰過せ一見其人之心^下踰過園に到れ七
花未開八十六種也高杉海井切五月廿六日
千次^下聲^下何べ一日^下出園^下は^下朱^下赤^下紅色^下鮮
麗なり園中異類^下白^下鳥^下白鳥^下集日^下出
而務^下ま^下白^下鳥^下踰過^下我^下為^下園^下物^下似^下たり^下觀^下罕^下なり
新宿より四時三十分^下下車^下馬^下車^下北^下野
天^下色^下微^下橙^下き^下易^下なり^下而^下脚^下軟^下未^下八^下寺^下漢^下車^下之^下爲^下
馬^下小^下金^下井^下向^下小^下四^下顧^下野^下色^下不^下佳^下風^下急^下而^下之^下也
送^下鴨^下遊^下意^下多^下閑^下なり

一年芳事思園欄行到金梅花已殘

懋心向軍中一僧一俗也其宗教之論也
一問一答其福甚有理為一矣及後寺
昨教誨之得喪如也
午前兩計法

小金井之碑石多身之疑之解丁彼處
時之流行無異其此歷王之得也終于次起
之冒歌之化教了

需方山人之二十甲身四月二十日
翰術采川杉即卷之諸堂記



